

環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業  
キックオフミーティング発表資料

活動団体名：環境アニメイテッドやお  
活動地域：大阪府八尾市高安地域

活動におけるテーマ：

キントイを軸とした農山村部と都市部の  
循環型共生圏づくり

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆高安の森林資源と八尾のものづくりの力が  
つながり、持続可能なまちをつくる！

高安地域

- ・豊かな森林資源
- ・農業・花き栽培
- ・歴史遺産も多数
- ・魅力的な古民家
- ・活用できる廃校

- ・原材料として森林資源や農産物などの提供
- ・自然体験や歴史を感じるプランの提供
- ・廃校を中心にした体験拠点を提供
- ・都市部近郊の田舎暮らしを提案

八尾の都市部

- ・ものづくり企業の技術力
- ・都市部に住む多くの住民



- ・ものづくり企業の技術の提供により、森林資源や農産物を元にした商品の開発
- ・開発した商品の都市部での消費
- ・廃校を利用した体験拠点への参加や、体験型ツアーなどへの参加

## 地域の現状と課題

### 地域の現状

#### ◎ 活動地域の概要

- ・ 八尾市の面積の1/6を占める高安地域の林野部
- ・ 地場産業は、花き栽培と水田、造園業、近郊野菜づくり
- ・ 都市部はものづくり企業が盛ん

#### ◎ 活動地域の特性

- ・ 都市近郊（大阪市から20分程度）の距離で自然を楽しめる。
- ・ 10年以上に渡り森林整備活動など地域に密着して活動をしている。

#### ◎ 活動地域にある地域資源

- ・ 里山の森林資源
- ・ 農作物や花き栽培
- ・ 魅力的な古民家
- ・ 活用できる古民家
- ・ 古墳などの歴史遺産
- ・ ものづくり企業の技術力

### 課題

#### ◎ 現状から考える地域の課題

- ・ 森林の整備は進むものの森林資源の活用ができていない。
- ・ 耕作放棄地も増え、地場産業が衰退している。
- ・ 少子高齢化が進み、人口減少

#### ◎ 今後取り組むべき課題

- ・ 森林資源の活用
- ・ 農作物や花きなどを加工するなどして活用
- ・ 若者の移住促進
- ・ 廃校の利活用
- ・ 古民家の利活用

#### ◎ 課題の中で地域循環共生圏を活用し、解決しようとする課題

- ・ 森林資源の活用
- ・ 農作物や花きなどを加工するなどして活用
- ・ 廃校の利活用

## 地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

### ヒノキの消臭剤

- ・ 高安のヒノキの葉を活用した消臭剤の開発

- ・ 洗剤メーカーなどの協力
- ・ ものづくり企業の情報発信をしてきたチームと連携（YAOLA）

### エコツアーの実施

- ・ 自然体験、歴史文化に触れるツアーを企画。

- ・ これまで、10年以上に渡り、実績のある団体などの協力を得ながら、有料のツアーをつくる。

### 完全有機フラワーの粉末フレーバー

- ・ 完全有機の花を栽培し、粉末にして、フレーバーとして販売する。

- ・ 食品加工業などの協力を得る。
- ・ アニメイティッドやお会員企業やみせるばやおなどの協力

### 廃校を活用した体験型拠点

- ・ 間伐材を利用した木育講座等、すでに実施されている講座と、新たな講座を追加して、廃校を拠点として整備する。

- ・ すでに取り組みが始まっている。
- ・ イベントの開催実績もあり。
- ・ 地域の合意形成については、すでに大枠で合意が取れている。

すべてを同じキンタイブランドとして発信する。

## 今後の事業取り組み予定

### —今後の予定—

- ◆事業に係るキーパーソンを巻き込んで、チームづくりを行っている。
- ◆本事業の趣旨を共有した上で役割分担を明確化し進めていく。
- ◆商品、体験コースなどの試作をつくり、テストマーケティングを行う。

### —今後の課題—

- ◆商品を開発するためのパートナーとなる中小企業
- ◆実際に商品を販売していく際の販路
- ◆将来的には、都市部にアンテナショップをつくりたい
- ◆ITを活用した、販路の拡大
- ◆森林資源を最大限に活用するための重機
- ◆仕組みを引き継ぐ人材育成

## スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング				現地意見交換会		◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定		現状の整理			ビジョン策定							
ステークホルダーの巻き込み		コアメンバーの巻き込み 事業の中心を担うメンバーの巻き込み			サポートメンバーの巻き込み 商品開発などでサポートいただく企業などの巻き込み							